

◆ 読書会 ◆

第1回	5月25日(木)	【テーマ】 私のオススメ本
第2回	12月14日(木) 12月20日(水)	【テーマ】 『蜜蜂と遠雷』(恩田陸著)を読んで感想を語ろう

◇ 第1回読書会 ◇

報告 日本語日本文学科1年 三雲紫恩



ポスター作成: 読プロメンバー

私が読書運動プロジェクトの一員になってから、最初にあったイベントは5月25日(木)に行われた第1回読書会でした。読書会とは自分のおすすめの本を持ち寄って紹介、さまざまなジャンルの本を知ることが出来る会です。今回は特にテーマを設定せず自分たちのお気に入りの本への思いを語り合いました。

第1回の読書会で紹介された本は、『ジョーカー・ゲーム』(柳広司)、『パンとスープと猫日和』(群ようこ)、『本日は、お日柄もよく』(原田マハ)、『本屋さんのダイアナ』(柚木麻子)、『紅茶と薔薇の日々』(森茉莉)、『カブキブ!』(榎田ユウリ)、『ななつのこ』(加納朋子)、『パリで待ち合わせ』(デボラ・マッキンリー)の8冊でした。初めての

の参加だったこともあり、とても緊張していましたが皆さんが相槌を打ってくださったり、微笑みながら話を聞いてくださっていたので安心して発表することができました。普段自分が読んだことが無い本について知ることができ、とても良い機会だったと思います。今後は新しいジャンルや、今まで読んだことが無い作家さんの本も挑戦したいと強く感じました。

幼いころから本が好きだった私は、偶然大学の図書館で「読書運動プロジェクト」の存在を知り、担当の森園さんにお会いし、メンバーになりました。今は一員になり本当に良かったと思っています。今後の活動も楽しみです。



緊張したけど楽しかったです!
先輩たちの優しい雰囲気
に安心して
発表できました♡

◇ 第2回読書会 ◇

報告 国際交流学科 4年 有馬梨咲

12月に行われた第2回読書会のテーマは恩田陸著の『蜜蜂と遠雷』で、2回に分けて行いました。メンバー全員が同じ本を読み感想などを言い合う読書会は2014年の『桐島部活やめるってよ』をテーマにした時以来でした。

今回の『蜜蜂と遠雷』は500ページ且つ2段組ととても量が多く読書会までに読むことができなかったメンバーもいました。しかし読み終わったメンバーでおすすめのキャラクターやシーンを発表することができたので良かったと思いました。

『蜜蜂と遠雷』はピアノコンクールに関する話で、またこの本の中に出てくる音楽がCDにもなっているためそのCDを流しながら行ったのでとても和やかな雰囲気を感じました。この本は、量が多いですが読みやすいため「ここがよくわからない」というのがないのが大きなポイントだと感じましたが、専門知識を少しでも持っているのと更に楽しめると感じました。それが読書会のまとめです。気を付ける点としては最後のページには結果発表があるため最後まで見ないようにすることだと思います。それを念頭に入れて読むことをオススメします。



ポスター作成：読プロメンバー



「ここが良かった!」「あのシーンが印象的」



みんなの意見が聞けて面白かったです!